

生徒指導だより「こころ」

平成29年2月13日(月)
NO. 18 文責 堀 晴昭

画竜点睛 (がりょうてんせい)

みなさん、画竜点睛 (がりょうてんせい) という言葉を知っていますか？毎年書いているので、もう覚えてたことでしょう。

中国の画の名人が、あるお寺の壁に龍の画を描きました。全部描き終わって、最後に、龍の画に「瞳 (ひとみ)」を描き入れたところ、たちまちその龍が生命を得て、天に向かって飛び立ったという故事です。

このことから、物事を中心となるような大切な部分を加えて完全に仕上げることを「画竜点睛」と言います。中学校3年間で、自分が描いていた画が完成し、次のステップへ向けて大きくはばたくことができるようにこの2月から3月にかけては、特に重要です。

3年生にとっては最後の「瞳 (ひとみ)」を入れるときです。希望する高校に合格することも一つかもしれませんが、卒業するときに「悔いはない」と思えるくらいがんばりぬけたか、「この3年間でこんな成長が自分はあった」と胸を張れるのか、「今、自分がこうしてられるのはいろんな人のおかげだ」と感謝の気持ちを持てるのか、など大切な何かを修得したり、気づいたりできるかが「瞳 (ひとみ)」を入れることに相当するのではないのでしょうか。学校へ来る日もあと20日と少しになっております。一日一日を大切にしてほしいです。

1、2年生においては、自分の画がどれくらい完成しているか今一度振り返ってみてはどうでしょうか。物事を成功させるためには、まず生活面 (こころ) だと思います。心をおろそかにしてはいけません。特に服装・態度・言葉などから心の乱れが見てとれます。みなさんは、自分の心の中には誰にも見られないと思っているかもしれませんが、実は丸見えなのです。

卒業式へ向けて

いよいよ卒業式まであと1ヶ月となりました。毎年そうなのですが、とても寂しい気持ちになるのと同時に、3年生がこの1年間、この鶴城中学校のため、仲間たちのため、後輩たちのため、家族のため、自分のためにどれだけ頑張ってきたかを考えると、感謝の気持ちとお礼の気持ちでいっぱいになります。きっとここに来るまでいろんなことに悩み、友だちや先生と衝突し、家族ともケンカを繰り返してきたことでしょう。それでもがんばり続け、卒業式を迎え



ようとしている17名の生徒を心から祝福したいと考えています。送り出す者の心構えとしては、きちんとした服装と態度で式には臨み、心を込めて歌を贈り、これからの鶴城中学校は私たちが守っていきますと強い気持ちを持つことが大切ではないでしょうか。1、2年生のみなさんよろしくお祈りしますね。3年生は主役です。身なり、服装、態度などは言うことはありませんよね。

この鶴城中学校を卒業した卒業生の数はこれまで6073名 (今回の卒業で6090名)、今度の卒業式は70回目になります。みんなですべて素晴らしい卒業式にしましょう。



卒業式当日は、在校生も卒業生も不要物の持ち込みを一切禁止します。(カメラ、プレゼントなどだめよ。) ※ちなみに「バレンタインデー」にチョコを持ってくるのもだめよ。



罪をつくらない

みなさん、次のようなことが起こりました。どう思いますか。

朝から校納金を先生に提出しようとして机に出していました。担任の先生が来るのを待っていると、1時間目が体育であることを思い出し、慌てて体育服への着替えを済ませる。そこへ先生登場。渡そうと思ったが、先生も次の授業の準備で忙しそう。「後で渡せばいいか。」と体育館へ急いだ。体育の授業が終わって教室に戻ってみると、机の上にあるはずの校納金の袋が見当たらない。「あれ?」「机の中にしまったかな?」と探すけどどこにもない。「そうか!カバンの中にしまったかな!」しかし、ここにもない。そうです。この生徒の校納金は誰かに盗まれてしまったのです。

たぶんこの話を讀んだ多くの人は、「誰がとったんだ。」「悪いやつがいるもんだ。」「犯人を捜さなくっちゃ。」とお金を盗んだ人の方に目を向けることでしょう。しかし、もう一つの視点があるはず。確かに盗んだ人は悪いですが、とってくださいと言わんばかりに机の上に置いている生徒もまた悪いのです。罪をつくってしまったのです。きっととった人もそこにお金がなければとらなかったことでしょう。この例は、自転車の窃盗事件とも似ています。わざわざ鍵のかかった自転車を抱えて持って行く人はいません。鍵がかかっていないから「ちょっと借りちゃおう。すぐ返すから大丈夫!」という悪魔のささやきに負けてしまうのです。みなさん、校内でも自転車の鍵をかけていますか? 罪をつくらないでくださいね。

そこで一つお願いです。部活動生の中に、自転車小屋の自転車に荷物を積んでいる人がいます。自転車小屋は校舎裏にあり、人目につきにくいです。カバンやサブバックの中には大切な物もたくさんあることでしょう。ぜひ部室か活動場所、中庭のカバン置き場に置いてください。先日、筆箱の紛失が起きています。